

1 受賞団体・個人の名称

じゅーえーきたびわこぷれみあまいせいさんしゃぐるーぷ
JA北びわこプレミアム米生産者グループ
(滋賀県長浜市)



(問い合わせ先)

〒529-0341 滋賀県長浜市湖北町速水2721
JA北びわこ 本店 営農企画課 TEL0749-78-2415 FAX0749-78-2422
einou@kitabiwako.jas.or.jp

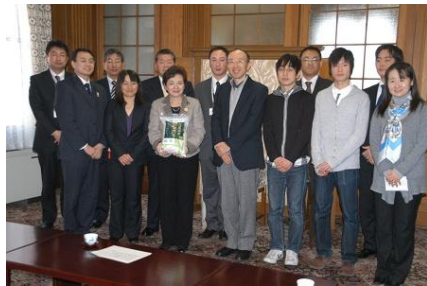
(経歴)

平成17年産米よりJA北びわこ「安全・安心な農産物づくり運動」を展開し「滋賀県環境こだわり農産物認証制度」にもとづくJA独自の生産基準を設定し北びわこプレミアム米の栽培に取り組んできた。

(受賞時の経営内容) 栽培面積(21年)1,041ha、栽培農家数(21年)567戸

2 生産面の取組

- ① プレミア米はJAが指定した化学合成農薬6成分に統一し、成分で有機質肥料50%の肥料を使用、側条施肥田植機田植えにより施肥効率が田面水への溶出が少ない栽培方法を基準としている。
- ② 疎植栽培により施肥量の削減をすすめる。
- ③ 前年の稲わらなどの有機物は全量すき込みを行っている。
- ④ 生産調整に大豆、小豆、レンゲなどマメ科植物を集団的に輪作して地力の増進を図る。
- ⑤ 農業用廃プラスチックを分別処理する。



3 経営面の取組

- ① コシヒカリの作付け比率が85%という利点を活かし、「大きなロットで安心を担保できる米を供給する」というマーケティング手法を展開。
- ② 消費者にわかりやすい栽培手法をめざし、「プレミアム米」の区分集荷をすすめる。
- ③ 大手量販店との契約が成立し、ブランド米として高い人気を得た。

4 取組の成果

21年のプレミアム米予約数量は4,407トンとなった。加算金と「農地・水・環境保全向上対策」の先進的営農活動の6000円により、10aあたり15,000円程度の収入増となり、経営の安定化に貢献している。 **プレミアム米の推移**

	栽培面積(ha)	予約数量(トン)	栽培農家数
21年	1041.0	4407	567
20年	903.8	3913	566
19年	804.9	3816	617

5 地域社会への貢献

- ① 小学生や消費者の方を対象に「田んぼの学校」を開催し、田植、稲刈りなどの体験学習や生産者との交流会を実施する。
- ② 外来魚の増加により琵琶湖の固有種であるニゴロブナを田んぼで産卵させ孵化した稚魚を再び琵琶湖に放流する事業を実施し、水田への愛着の高揚に努める。
- ③ CO2排出量の「見える化」に取り組み、プレミアム米を原料とした商品がカーボンフットプリントの認証を取得した。(国内初)

